

【考】



dreams come true
OHMURA ASUMI

好きだからいそいそ頑張れる

朱澄さんを突き動かしてきたもの。それは紛れもなく「夢」だ。中学時代は全中、高校時代はインターハイ、大学時代はインカレと、その時代の主要な大会を目標とし、その全てを制覇してきた。父・敏正さんは「階段を一段一段のぼるようにステップアップしてきた」と表現した。

昨年中国で開催されたアジア競技大会で銀・銅メダルに輝いたときでさえ「中国の選手に及ばずくやしかった。まだ自分の力不足を感じる」と目標の金メダルに届かなかつたくやしさをにじませた。目標に向かって一切の妥協を許さない「心の強さ」を感じた。アジアで2位は、はつきり

言いつつすごい。誰にだって自慢できる成績だ。でも彼女は

は納得しない、満足しない。夢の最終到達点に、オリンピックを見据えていたからだ。夢を見れば、誰でもオリンピックに出場できるわけではない。途中で壁にぶち当たり、あきらめる人が大半だろう。朱澄さんも、ここまで決して順調だったわけではない。つらいことも、きついことも、人一倍経験している。でも「やめよう」という気持ちにだけはならなかったと言う。

「やっぱりカヌーが楽しいし、大好きだから。がむしやらに目標に向かって進んできただけです」。誰だって最初は一人の挑戦者。成功するための「近道」なんて存在しないのだ。

謙虚な姿勢と感謝の心

朱澄さんと会話すると、言葉の端々に感謝の気持ちが顔をのぞかせる。「皆さんが支えてくれたから、今の自分がある」と当たり前のように話す朱澄さん。小さい頃は「いばりんぼう」だったと苦笑いするが、とてもそんな風には見えない。常に回りに気を配っている女の子だ。

日本の代表選手として、長く海外で戦ってきた朱澄さん。心が弱くなったときは、いつもたたくさんの顔が浮かんでくるという。応援してくれる人、支えてくれる人、カヌー部時代の仲間、友人、ナショナルチームのスタッフやメンパー、愛する家族…。そんなたたくさんの「支える手」を感じ

じていたからこそ、いつも「笑顔」で壁を乗り越えることができたのだ。

超一流の野球選手であるメジャーリーガー。だが「野球がうまい」だけでは、真のメジャーリーガーにはなれないという。ファンや子どもたちに夢を与える存在として、言動や態度など、人格者であるかどうか問われるからだ。人間・大村朱澄を考えたとき、これまで取材した人の言葉を思い出さずにはいられない。どの人に聞いても、彼女の印象を「気さくで謙虚。そして一途。人当たりのいい女の子だよ」と表現していた。いつも感謝の気持ちを忘れない、彼女もまた一流。朱澄ファンが、この町に多いのもうなずける。

大村朱澄とはどんな人間なのか その強さの秘密は、人としての魅力は…

昔とちっとも変わらない気さくで人当たりのいい性格 とてもオリンピック選手とは思えないんです

朱澄ちゃんが本川根カヌーレーシングチームに入会したのは小学2年生の時。当時最年少でした。2人のお兄ちゃんが大好きな子でしたから、その影響もあるでしょうね。子どもたちは、みんなカヌー未経験者ですから、まずはカヌーに慣れ



朱澄さんがチーム入会当時
B&G海洋センター職員だった
平松敏浩さん(千頭)

ることから始まります。B&G海洋センターの温水プールを使って練習するんですが、みんな最初は四苦八苦するんですね。競技用のレーシングカヌーは、いわゆるレジャーカヌーとは形が違います。スピードを出すため流線型をしており、極端に細身なんです。大人の人でも最初の内はバランスがとれず、3秒と浮いていることができません。子どもたちが四苦八苦するのも無理はないんです。

でも朱澄ちゃんは、わりとすぐカヌーに慣れた印象があるんですね。父親の敏正さんは「朱澄は体が軽いからひらひらっと乗れただけだよ」って謙遜していましたが、早いうちからスイスイ操っているのを見て感心したのを覚えています。

週末には町やカヌー協会が主催する合宿に参加したり、各地で開かれる大小の大会に参加したりしました。そうやって実戦経験を積んでいったんです。

本川根中学校に入学した直後こそ、他校の上級生にはかなわなかったようですが、その後どんどん力を付けていきました。

中学2、3年生の頃には、同学年の選手にはまず負けることはなかったと思います。全中(全国中学校体育大会)を始めとした各大会で優勝を重ねました。世界大会に初めて参加したのもこの頃ですね。当時、静岡県代表だった春野高校の選手より速かったんですよ。中学生なのに。全国を見渡してみても、強敵と呼べる相手はいなかったように思います。

当時からレース前の集中力には目を見張るものがありました。大人の私たちですら近寄りたがたい雰囲気がありましたから。1レースごと大きなプレッシャーを感じていたんだと思います。

でも普段の朱澄ちゃんは、昔とちっとも変わらないんですね。ものごしが柔らかで、謙虚で…。気さくな人柄、人当たりもいい。とてもオリンピック代表選手とは思えないんです。

「もっといばってもいいんだよ」とからかったりするぐらいなんです。その人の良さが、朱澄ちゃんの変らない魅力なんだと思いますね。